



ゆるやかに変えていくための意味と仕組み

「鳥の劇場」の事例から社会やコミュニティとの関わりを考える

ゲストは、鳥取県鳥取市鹿野町の廃校になった小学校と幼稚園を劇場に変えた「鳥の劇場」の芸術監督である中島諒人さんです。人口減、高齢化、景気の低迷など、「明るい未来」がみえない状況も「おもしろい」と捉え、社会課題を根源的に突き詰めながら、劇場を通してコミュニティや社会と関わりをつくり続けている中島さん。人口減少の先進県である鳥取県で「劇場」という場づくりを2006年から続けている中島さんだからこそ語れるリアリティーあるお話を、荻宿氏との対談形式で進めていきます。

—今の世界状況は、根源的に突き詰めて考えていくことでしか乗り越えられない。しかし考えの違う他者と折り合いをつけなければならない、突き詰めと折り合い、矛盾していますが、それをするしかない。そういうことをリアルに感じる場所が演劇で、現代はまさに劇場を必要としている— 鳥の劇場 HP より抜粋

社会課題との向き合い方、コミュニティとの関わり、そして、考えの違う他者との突き詰めと折り合い。「劇場」にどんな意味を持たせながら活動を続けているのか、是非、シンポジウムでリアルな現場の話聞いてみませんか。

Online Symposium speaker 中島諒人
2024 10.6 Sun. 10:00-12:30

中島諒人 プロフィール

1966年生。大学在学中より演劇活動開始。2004年から1年半、静岡県舞台芸術センターに所属。2006年より鳥取で廃校を劇場に変え、鳥の劇場を設立。芸術的価値の追究と普及活動を両輪に地域振興や教育にも関わる。2003年利賀演出家コンクール最優秀演出家賞。2007年鳥取市文化賞。2010年芸術選奨文部科学大臣新人賞。2015年鳥取県文化功労賞。現在鳥取県教育委員。BeSeTo演劇祭日本委員会代表。



多元的共生社会における生涯学習を考えるシリーズ 第33回 シンポジウム
社会課題をおもしろがりながらゆるやかに変えていくための意味と仕組み
—「鳥の劇場」の事例から社会やコミュニティとの関わりを考える—

- 講演者 : 中島諒人さん (鳥の劇場 芸術監督)
- 日時 : 2024年10月6日(日) 10:00-12:30
- 参加費 : 2,000円
- 実施形態 : オンライン開催 (ZOOM) / 録画配信込み

お申し込みは一般財団法人生涯学習開発財団までお願いします。
お問合 : lcd.aogaku@gmail.com